

福祉部の次期主要計画の実態調査結果

～各調査結果に共通する主な傾向・特徴～

大田区地域福祉計画実態調査

大田区高齢者等実態調査

大田区障がい者実態調査

傾向 1) 複合課題への対応について

①地域福祉計画実態調査

日常生活を送る上での悩みごとについて、**2つ以上の項目を回答した区民の割合は、55.7%**

②高齢者等実態調査

介護サービス事業者として、複合的な課題を抱えた困難事例等について区民の相談を受けた割合は、約7割。

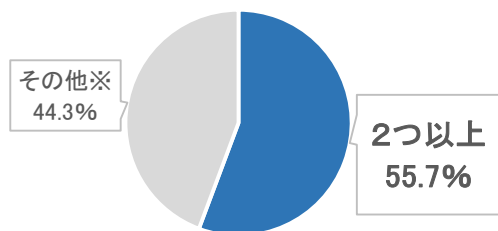
③障がい者実態調査

障がいサービス事業者として、複合的な課題を抱えた困難事例等について区民の相談を受けた割合は、7割以上。



★複数の悩みや困りごとを抱えている区民が半数を超えている。
また、介護・障害サービス事業者では、複合課題を抱えた区民の相談を受けたことがある割合が7割程度となっており、複合課題への対応は、ニーズが高い

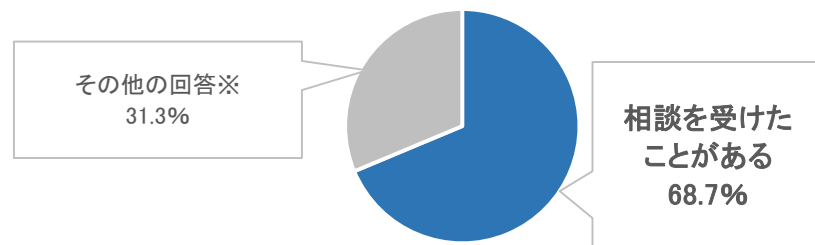
①感じている悩みごとの数



■ 2つ以上 ■ ※その他の回答(1つ・特になし・無回答)

※大田区地域福祉計画実態調査

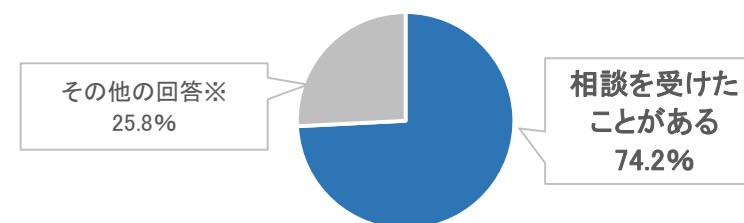
②介護サービス事業者への、
複合課題を抱えた区民の相談状況



■ 相談を受けたことがある(選択肢「その他」含む)
■ ※その他の回答(相談を受けたことがない・無回答)

※大田区高齢者等実態調査

③障害サービス事業者への、
複合課題を抱えた区民の相談状況



■ 相談を受けたことがある(選択肢「その他」含む)
■ ※その他の回答(相談を受けたことがない・無回答)

※大田区障がい者実態調査

傾向 2) 地域活動への参加意向について

①地域福祉計画実態調査

特徴によっては、地域活動やボランティア活動に参加したい方の割合は、8割以上。

②高齢者等実態調査

地域住民の有志により、いきいきとした地域づくりを進めることについて、活動の参加者として参加してみたいと思っている方の割合は、

55歳～64歳⇒59.3%

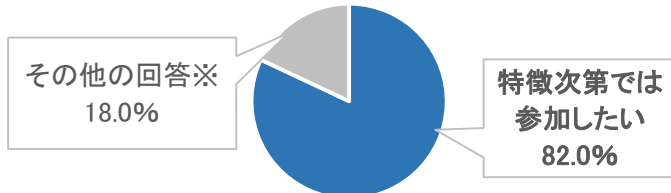
65歳以上高齢者⇒54.6%

参考) 大田区政に関する世論調査 57%



★地域活動への参加意向については、調査対象者の年代により、若干の差はあるものの、参加を希望する方は、半数を超える。参加への提示等を工夫することにより、活動への参加の可能性が伺える。

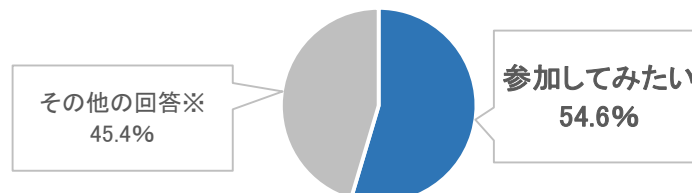
①地域活動やボランティア活動に参加したいと思う特徴



- 特徴次第では参加したい(選択肢「その他を含む」)
- ※その他の回答 (どのような特徴でも参加したいと思わない・無回答)

※大田区地域福祉計画実態調査

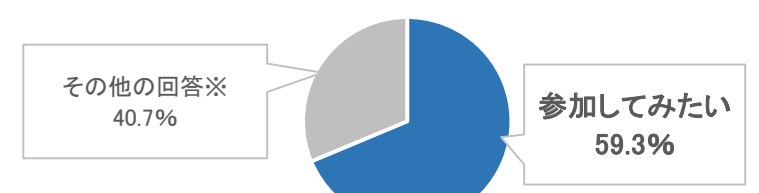
②いきいきとした地域づくりへの参加意向(65歳以上)



- 参加してみたい(是非参加したい・参加してもよい)
- ※その他の回答 (参加したくない・既に参加している・無回答)

※大田区高齢者等実態調査

②いきいきとした地域づくりへの参加意向(55歳～64歳)



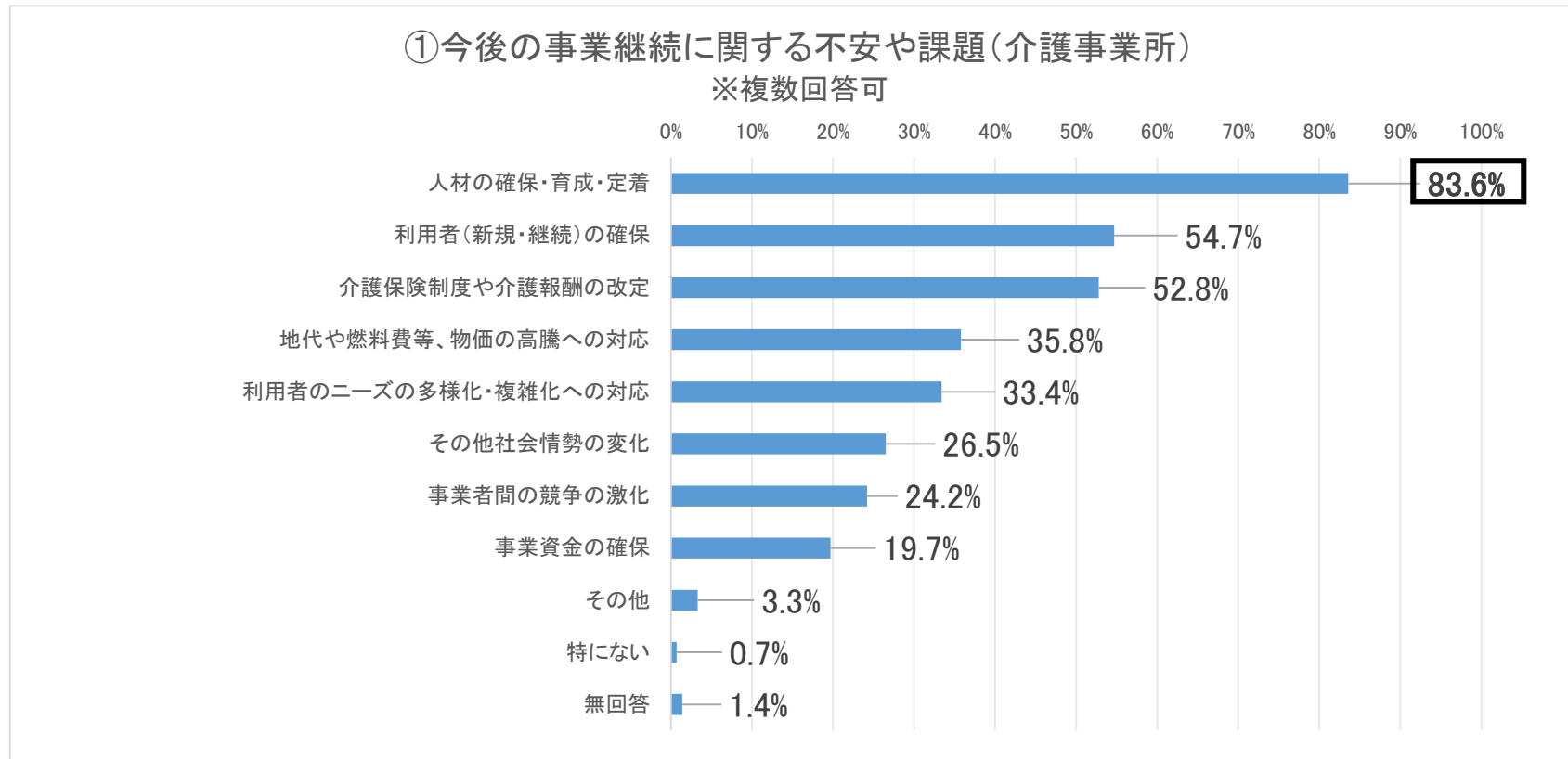
- 参加してみたい(是非参加したい・参加してもよい)
- ※その他の回答 (参加したくない・既に参加している・無回答)

※大田区高齢者等実態調査

傾向3) 事業継続に向けて不安なこと・課題について (介護・障がい)

①高齢者等実態調査

介護事業所における今後の事業継続に向けて不安なこと、課題と感ずることについて、人材の確保・育成・定着と回答した割合は、8割以上。



※大田区高齢者等実態調査

傾向3) 事業継続に向けて不安なこと・課題について (介護・障がい)

②障がい者実態調査

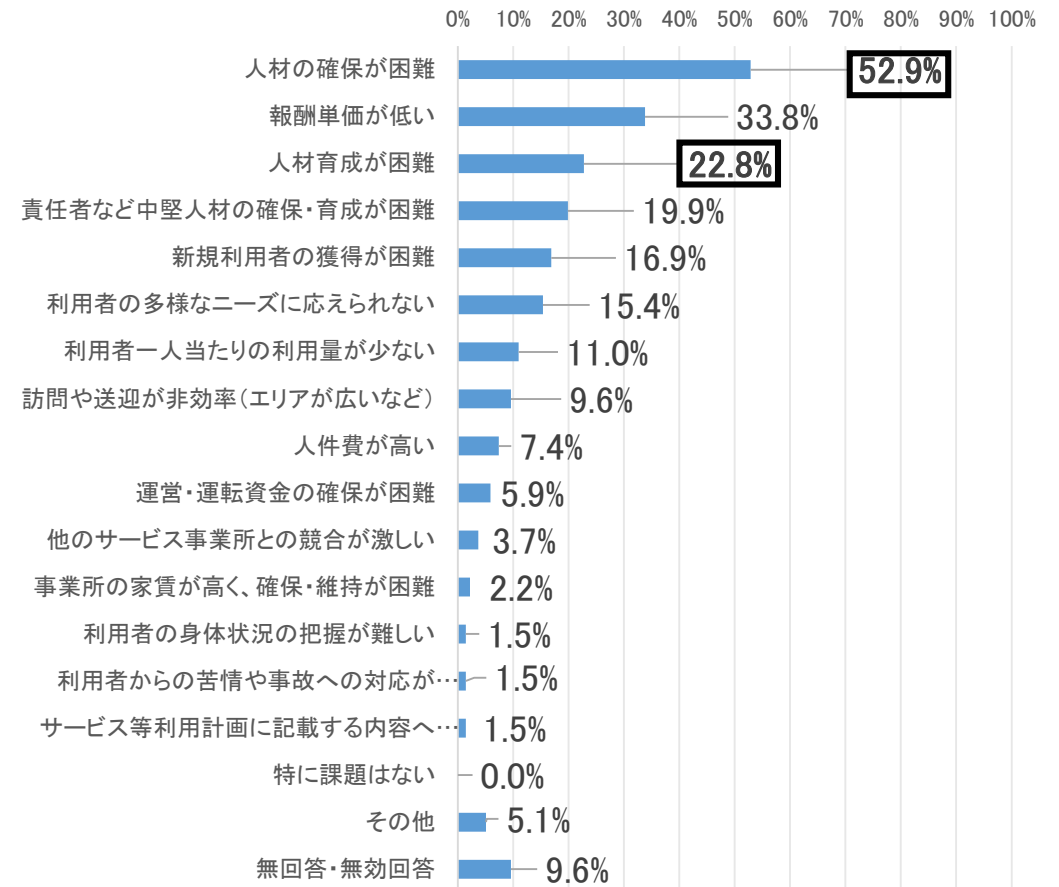
障がいサービス事業所における、事業を運営する上での
主な課題について、

○人材の確保が困難と回答した割合が最多の5割程度

○人材の育成が困難と回答した割合が2割程度

②事業を運営する上での主な課題 (障がいサービス提供事業所)

※複数回答可



※大田区障がい者実態調査